

大黒楹黄金柱礎

207  
411





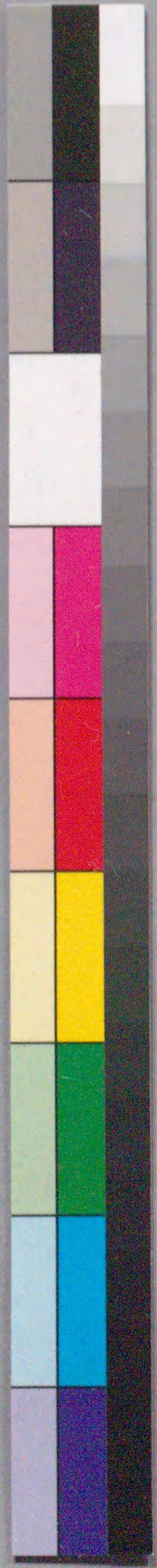




金に  
と  
金

鳳凰小判の桐棲玉兔大錢の浪と走る  
宗盛の馬子南鐐の名あれば下總の原小金  
呼ぶあり獲るは物金なりと失物とていひ  
金にら金恨ら数くさる。店屋に金子後家の  
金生滅己入用遣ひ果し二かたの金壹部  
の巻と三文の智慧を揮と一趣向根と本錢の  
かゝ作者られども價千金の春の眠と春見も  
そは利積まぐる如し。

丁巳の初春慶度日曲亭馬琴識















あまのこゝろはあはれなり  
いづれかきくもさきさき  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり

あまのこゝろはあはれなり  
いづれかきくもさきさき  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり

あまのこゝろはあはれなり  
いづれかきくもさきさき  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり

あまのこゝろはあはれなり  
いづれかきくもさきさき  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり  
あまのこゝろはあはれなり









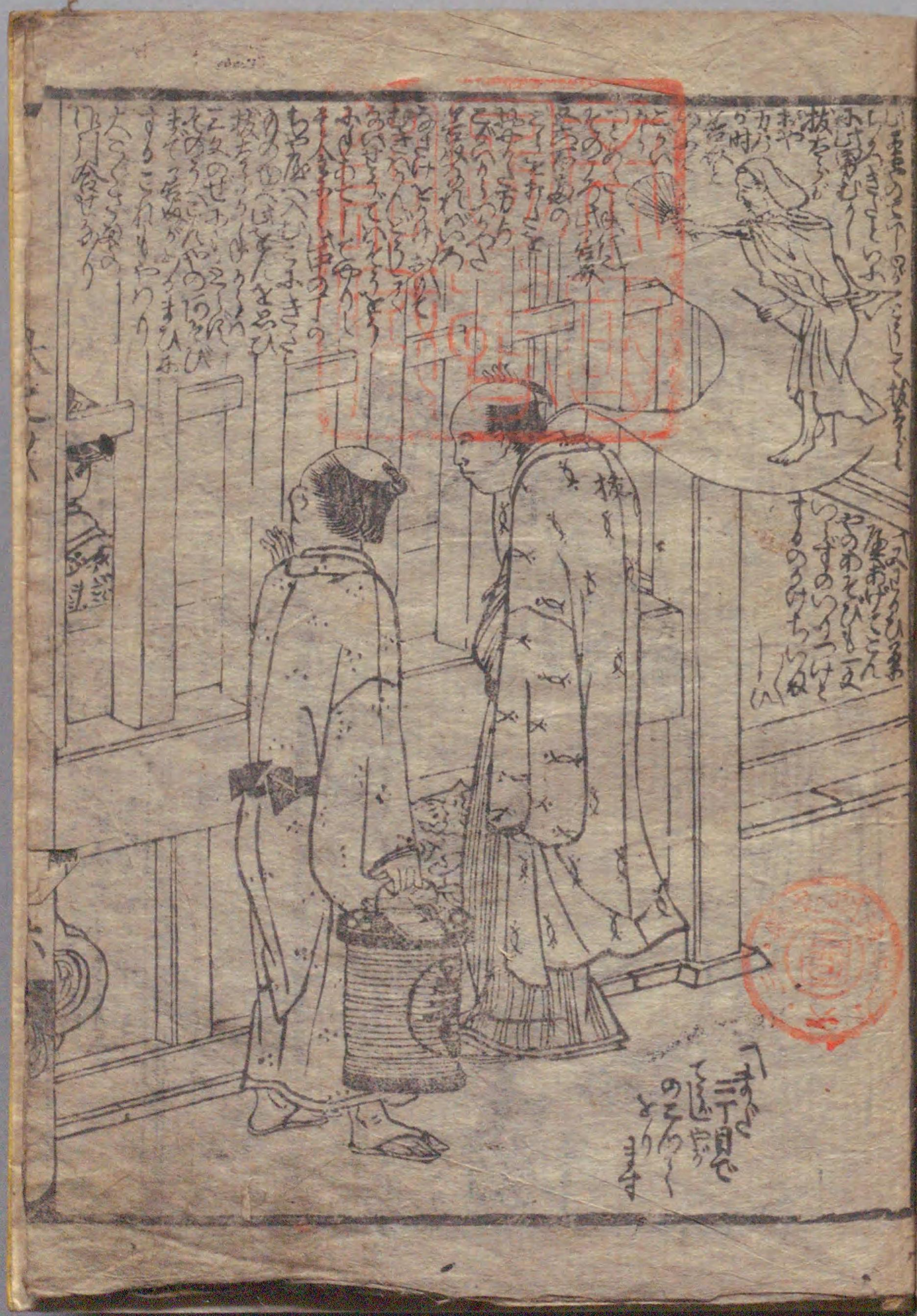




大黒楹黄金柱礎



















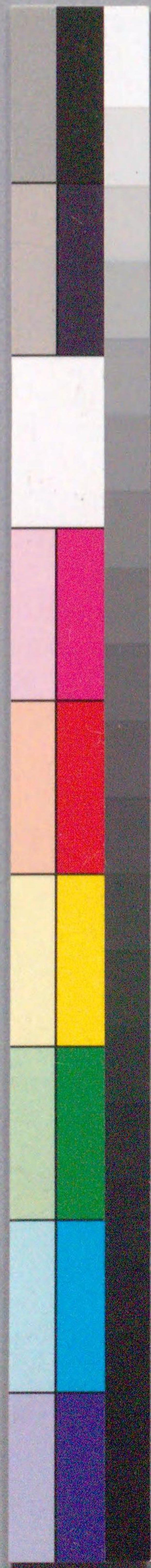












国立国会図書館 大黒楹黄金柱礎：2巻 207-411



ガラス使用

